

IPv6 BOF Report

猪俣@富士通

2001/7/27

BOFの概況

- 日時
 - 2001年7月26日 15:00~17:00
- 発表項目
 - Address Policy : 荒野氏@NTT com.
 - ルーティング : 向井氏@OMP
- 参加者数
 - 150人くらい

Address Policy

- 割り振り
 - 1st /29, 2nd /28, 3rd /24(?)
 - おかわり 2nd 25%, 3rd 50%(?)
- 割当
 - Contract単位
 - エンドユーザ:/48
 - sub-ISP:/40
- その他
 - DB登録:基本的に登録(rps-dist)
 - クローズネット用にPIを規定

Address Policyの議論

- 意見
 - 割り振り済みアドレス(sTLAなど)の返却はなしにしてほしい
 - 動的ネットワークアドレス割当(ダイアルアップなど)も考慮してほしい
 - データセンタ内の割当をどうするか
 - ラック単位？
 - 地域的に分散した場合、割当はどうか
 - 契約単位では難しい？
- まとめ
 - 大枠は同意
 - APNIC(台北:8月末)に提案

ルーティング

- マルチホーム
 - トンネルはスケールが難しいけど、パンチングホールもいや
 - マルチホーム専用のアドレスブロックを設定
 - マルチホームを許可する規定が必要か？(議定書？)
- Aggregation
 - Policy Controlのための分散経路広告をどこまでゆるすか
 - ルール作りが必要
- IGP
 - 内部経路数は増加
 - ケースバイケースなので、結局ISP個々でがんばるしかない

ルーティング

- 意見

- Criteriaを作るにはアドレス利用量の試算が必要
- 守れない(守らない)ルールを作っても意味がない
- ケースバイケースではないか
- 日本だけで決めても、オーソライズできない
 - 日本でやってみて、例を作りたい
- 現時点では詳細は決めなくてもよいのではないか？
 - 今のうちにやらないとダメ？

- まとめ

- ルール作りが必要そう
- 規定の裏づけが必要(消費量の試算)
- 強制手段についても課題